

鹿児島市議会議員

市政報告

永谷 さよこ



いのちとくらしによりそう

2025年第1回定例会は、3月21日の最終本会議において、令和7年度鹿児島市一般会計約2,953億円当初予算が原案通り可決。条例その他の案件については原案どおり議案を可決、承認し閉会しました。今回の議会で「刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書」が提出され、全会一致で採択しました。

◆◆ 永谷さよこは 市議会で4回目の個人質疑を行いました。 ◆◆

新年度予算について

代表：物価高騰等により大変苦しいものとなっている市民の暮らしが市長には見えているか？市民の生活実態をどのように見て新年度予算を組まれたのか？

市長：令和7年度当初予算において、認知症オレンジシティ推進事業などに取組むとともに、物価高騰対策として市民生活や事業活動を支援するため物価高騰に係る学校給食費支援補助金など35億円を計上、児童手当の増などにより、扶助費が1100億円を超えるなど、市民一人ひとりが自分らしく健やかに暮らせる、安心安全なまちづくりにつながる事業を可能な限り盛り込んだ。

代表：今回使用料値上げを行うことはさらなる市民への負担増となるが、どのように市民へ説明するか？

市長：施設の維持管理に要する費用については、利用者に負担いただく使用料と、利用しない方を含め、市民全体が負担している公費でまかなわれており、適切な受益者負担を求めることで、市民負担の公平性を確保するとともに、持続可能な施設運営に必要な改定であることを、市民にご理解いただけるよう丁寧な周知広報に努めてまいりたい。



マイナ救急について

令和7年度より開始予定実証事業。
救急隊が傷病者のマイナ保険証を活用して病院選定等に必要な情報を把握する取組

永谷：救急隊の現場到着から出発までの時間が通常より延伸するおそれがあるがどのように考えるか？

消防局長：時間の延伸については国も課題として挙げており、現在、システムや運用面などの改善策が検討されていることから、今後の動向を見守る。



まごころ収集について

永谷：まごころ収集の対象者の要件は？

環境局長：要介護1から5の認定を受けている方や、身体障害者1,2級所持者などで、介護保険法または障害者総合支援法に基づく居宅サービスを利用している一人暮らしの方、または対象者のみの世帯。

永谷：要件緩和についてどのように考えるか？

環境局長：利用対象の要件については、ごみ出し困難であることを判断できる基準として設けたものであり、毎年度200件以上の申請があることから見直しは考えていない。

永谷：多くの市民が戸別収集を必要としている状況。戸別収集専門の収集体制を構築し、きめ細やかな市民サービスへの展開について議論しまごころ収集の要件緩和に向けて、予算や人員を増やす検討を始めるべき。



高額療養費制度について

永谷：高額療養費制度の見直しと背景について

市民局長：国の7年度予算案資料によると、高齢化や高額薬剤の普及等により高額療養費の総額が年々増加し、結果として、現役世代を中心とした保険料が増加してきたことから、セーフティネットとしての役割を維持しつつ、健康な方を含めた全ての世代の被保険者の保険料負担の軽減を図る観点から自己負担引き上げなどを実施するとされている。

永谷：限度額の引き上げにより、治療を断念する方が数多く出る。制度の持続可能性のために、人の命が削られていくことなどあってはならない。市長として、市民の健康や生活への影響をどう考えるか？

市長：今回の見直しは、セーフティネットとしての高額療養費制度を将来にわたって堅持するためとされているが、見直しによる影響等を含め、国民の理解が得られるよう、国において、適切に対応していただきたいと考えている。

永谷：市民にとって差し迫った命の問題であるにもかかわらず国に任せるような答弁は大変残念。当事者の方々の命と暮らしに寄り添う立場から、高額療養費制度の自己負担引き上げは凍結すべきである。



かごしま郡山風力発電事業について

永谷：景観形成ガイドラインの調整手順について、市長が説明会を要請することができる理由は？

建設局長：県によると、関係市町村において、地域住民の意向を確認する必要があると判断した場合は、風力発電施設の建設が景観に与える影響について、詳細な情報を事業者から地域住民に対して提供してもらうことが重要であることから、事業者に対して説明会の開催を要請することができるとしたもの。

永谷：市長は説明会を開催するよう要請するか？

建設局長：今後、事業者から県へ協議書類が提出され、県から本市への意見聴取があった際には、必要に応じて、説明会開催の要請を検討したい。

永谷：市長は現地を視察する意思はあるか？

市長：県の景観形成ガイドラインについては、基本的に担当の都市景観課で対応することとしており、状況についてはその都度報告するよう指示している。

永谷：鹿児島市に159mの風車が7基、154mの風車が1基建つ計画であるにも関わらず、景観形成ガイドラインの調整手順に基づき対応すべき立場としては、当事者意識があまりにも希薄である。市民のための市政を担う自治体の長として、現地を見届けていただきたい。



立憲・社民鹿児島市議会議員団

◆今回、代表質疑を 大森 忍団長、個人質疑は 永谷 をふくむ4人の議員が登壇し質疑を行いました。

永谷さよこの個人質疑はこちらのQRコードからご覧いただけます。



誰もが安心して暮せる鹿児島市をみなさまと一緒につくりたい



みなさまのお困りごとや気になることを永谷さよこにお聞かせください。様々なお声を聞かせていただいております。ご連絡いただければこちらから参ります。

連絡先：鹿児島市星ヶ峯1-26-16

携帯：070-9194-1133

メールアドレス：

leyona0801@gmail.com



永谷さよこ プロフィール

1977年 鹿児島市生まれ 星ヶ峯在住

よいこの家（騎射場）→鴨池幼稚園→宮川小学校→西谷山小学校→星峯中→鶴丸高校→立命館大学国際関係学部中退 →早稲田大学第二文学部卒業
助産師、看護師、ケアマネジャーを経て、令和6年4月より 鹿児島市議会議員